

2011 年 7 月 7 日

各 位

フーズレック株式会社

震災で被災した岩沼物流センターが業務再開 ー 食品物流インフラの安定提供により東北地方の復興に貢献しますー

食品物流のフーズレック株式会社（社長：渡邊進一郎、本社：東京都墨田区）は、東日本大震災によって被災した岩沼物流センター（宮城県岩沼市）を復興し、7月1日より業務を開始いたしましたのでお知らせします。



岩沼物流センターは、仙台空港に隣接する岩沼臨空流通工業団地内に位置し、主に南東北3県をカバーする食品物流拠点です。しかし、今回の大津波により建物や冷凍冷蔵設備の浸水・損壊、車両の水没・流失のほか、大量の瓦礫の漂着などで稼働不能となっております。

当社では、震災発生直後から従業員の安否確認、支援部隊の派遣、代替えセンターによる業務代行など復旧・復興に向けたさまざまな活動を実施してまいりました。その結果、震災から約4か月ぶりに同センターの再開にこぎ着けたものです。

建物の洗浄および修復、冷蔵冷凍設備やマテハン機器、3温度帯対応車両などを一新し、低温物流センターとして十分な品質と機能を回復いたしました。庫内作業などの要員も新たに現地採用して安全や食品衛生などの教育を完了し、万全の体制となっております。



被災直後（津波で大量の瓦礫が散乱）



再開した岩沼物流センター

フーズレック(株) 岩沼物流センター 概 要 お問い合わせは 03-3829-2058 事業本部まで	所 在 地	宮城県岩沼市下野郷菱沼 84・39	
	取 扱 品 目	3 温度帯食品	
	倉 庫 面 積	ド ラ イ	約 100 坪
		チ ル ド	約 800 坪
		フ ロー ズ ン	約 200 坪
	従 業 員 数	45 名	
	車 両 数	16 台	
	配送エリア	南東北地区（宮城、福島、山形）	

再開した岩沼物流センターは、低温度帯を中心にした食品物流インフラの安定提供や地元雇用の創出などに努め、地域と共生した運営をめざします。今後も当社および当社子会社の東北ウイングは、物流を通じて東北地方の1日も早い復興に貢献してまいります。

以 上

■ご参考

<フーズレック株式会社概要>

本 社：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

代 表 者：代表取締役 渡邊 進一郎

創 業：1956年（昭和31年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率94.8%）

資 本 金：2億18百万円（2010年12月末）

売 上 高：401億円（2010年12月末、FLグループ連結）

従業員数：2,380名（2010年12月末、FLグループ正社員・パート等含む）

事 業 所：北海道から九州まで全国に約70拠点を設置

関係会社：北海道、東北、関東、中部、関西、九州に6つの地域子会社を展開

事業内容：旧雪印物流(株)の時代から約半世紀にわたって食品物流を全国展開しています。
2004年に社名をフーズレックに変更。SBSグループの3温度帯食品物流事業
のコア会社として、食の安全をしっかりと守る物流品質で全国のお客様に輸送・
保管・流通加工・センター運営などをご提供しています。また、食品物流全般
を一括でお引き受けする3PLサービスにも豊富な実績を有しております。

U R L：<http://www.foodslec.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

フーズレック株式会社

事業本部 TEL:03-3829-2058/e-mail:jigyohonbu@foodslec.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、
あらかじめご了承ください。